

特別支援学校の整備

学校施設課
特別支援教育課

1 特別支援学校東紀州くろしお学園本校統合整備事業

平成25年度に、測量調査、建築設計等を開始し、平成28年度内を目途に施設が完成できるよう整備を進めたい。

○ 整備スケジュール

年度	主な事業内容
平成25年度	測量・地質調査、造成設計、建築設計
平成26年度	造成工事、建築設計
平成27年度	造成工事、建築工事
平成28年度	建築工事

2 松阪地域特別支援学校（仮称）整備事業

平成25年度に、測量調査、建築設計等を開始し、平成28年度内を目途に施設が完成できるよう整備を進めたい。

○ 整備スケジュール

年度	主な事業内容
平成25年度	測量・地質調査、建築設計
平成26年度	建築設計
平成27年度	建築工事
平成28年度	建築工事



いじめ対策事業



趣旨・目的

- ・深刻化するいじめの未然防止を図り、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを強化するため、学級満足度調査を活用した子どもたちの問題解決能力の育成を図る。
- ・いじめを早期に発見し的確に対応するため、スクールカウンセラーの学校配置を進めるとともに、効果的な活用や教育相談体制の充実を図り、学校がいじめの問題に組織的に対応できるよう、積極的に支援を行う。
- ・学校だけでは解決が困難な場合は、スクールソーシャルワーカー等の専門家で組織する「学校問題解決サポートチーム」を派遣し、迅速かつ適切な支援を行い、早期の解決をめざす。

課題

学校・学級づくり
●児童生徒の問題
解決能力の育成

個別への対応

- 実態把握
- 早期発見
- 早期対応

未然防止

早期発見

早期対応

いじめを許さない「絆」プロジェクト事業

- 学級満足度調査を活用した学級・学校づくり
 - ・児童生徒自らが解決していく力を育てる取組
- 「絆プロジェクト委員会」での研究協議
- 生徒指導の核となる指導主事等を対象とした養成講座

スクールカウンセラーの配置

県内公立 小学校	学び 45校	SC配置事 78校	132校	未配置 136校
-------------	-----------	--------------	-------------	-------------

255校(学び45校+SC事業78校+緊急配置132校) / 391校(配置率65.2%)

県内公立 中学校	学び 15校	SC配置事業144校	4校	
-------------	-----------	------------	-----------	--

163校(学び15校+SC事業144校+緊急配置4校) / 163校(配置率100%)

県立高等 学校		SC配置事業 31校	5校	未配置 22校
------------	--	---------------	-----------	------------

36校(SC事業31校+緊急配置5校) / 58校(配置率62.1%)

スクールソーシャルワーカーの配置

平成24年度 4名 → 平成25年度 3名増 計7名

いじめ巡回相談員配置事業

- いじめ巡回相談員の配置(15名)

いじめの問題について支援が必要で、スクールカウンセラーが配置されていない小学校に、「いじめ巡回相談員」を派遣

成果

- 未然防止
- 児童生徒の「自立する力」や「共に生きる力」の育成
- 指導者の資質向上

- 校内及び中学校区の教育相談体制の充実

- 早期発見・早期対応

- 学校だけでは解決が困難な事案についての早期の解決

子どもたちが安心して学ぶことができ、いじめのない環境づくり



平成25年度 いじめを許さない「絆」プロジェクト

三重県教育委員会
生徒指導課

趣旨・目的

深刻化するいじめの未然防止を図り、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを強化するため、学級満足度調査を活用した子どもたちの問題解決能力を育成する取組を進める。

また、いじめをはじめとする生徒指導上の課題を総合的に支援できる地域の指導者の育成を図る。

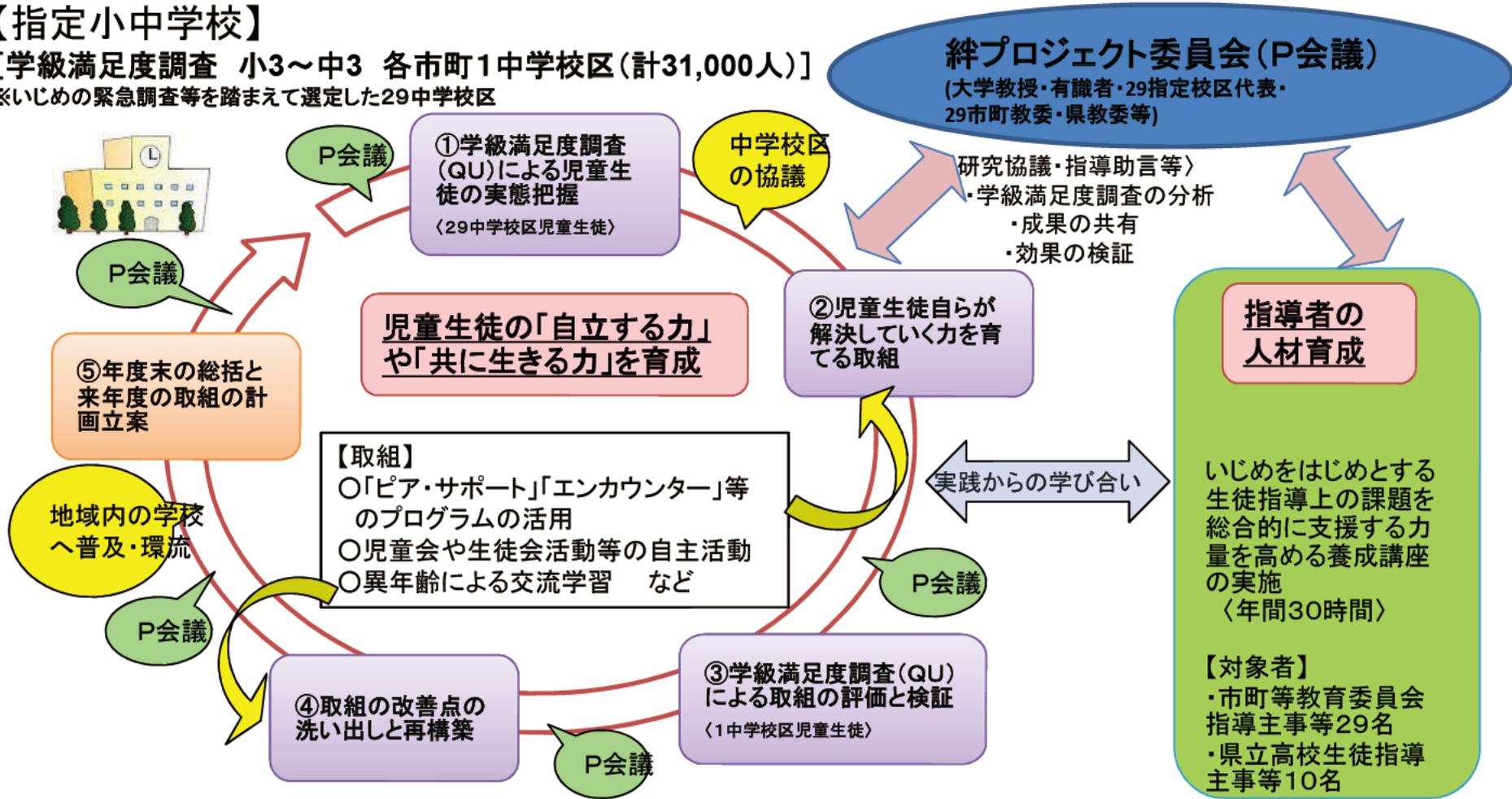
〔期待される効果〕

子ども一人ひとりの実態が客観的に把握され、その実態に応じた効果的な集団づくりの取組により、子どもの自立する力や共に生きる力が育成される。

【指定小中学校】

[学級満足度調査 小3～中3 各市町1中学校区(計31,000人)]

※いじめの緊急調査等を踏まえて選定した29中学校区



- ・将来的には、中学校区単位でスクールカウンセラー（SC）を配置することにより、すべての小中学校においてSCを活用した教育相談体制を構築します。
- ・スーパーバイザーを県庁に配置し、SCの力量向上を図るとともに、緊急的な支援に対応します。
- ・児童生徒の心のケアに加え、教員のカウンセリング能力等の向上のための校内研修や、児童生徒のストレスの対処等の教育プログラム実践へ活用します。

平成24年度

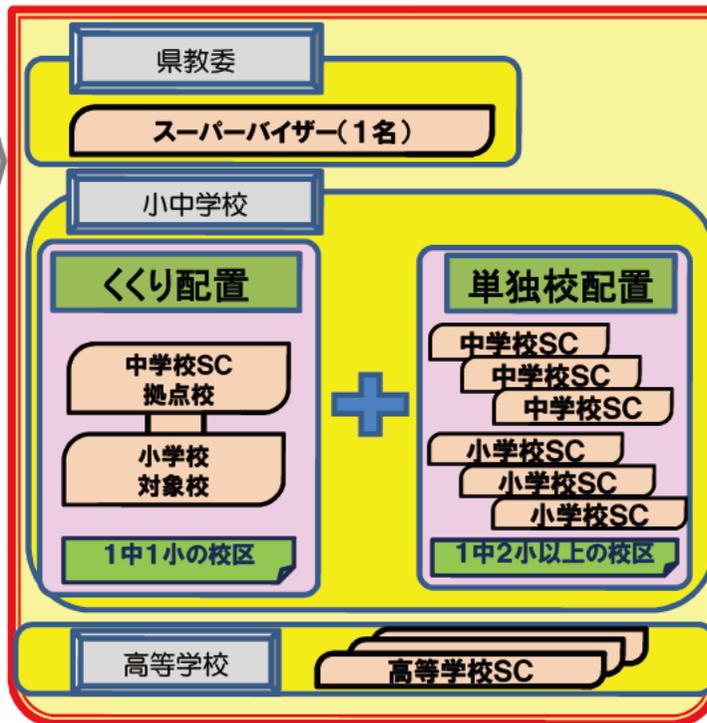
配置数及び配置率
 小学校 123校 (31.5%)
 中学校 159校 (95.8%)
 高校 31校 (53.4%)
 計 313校



配置方法の工夫変更

平成25年度

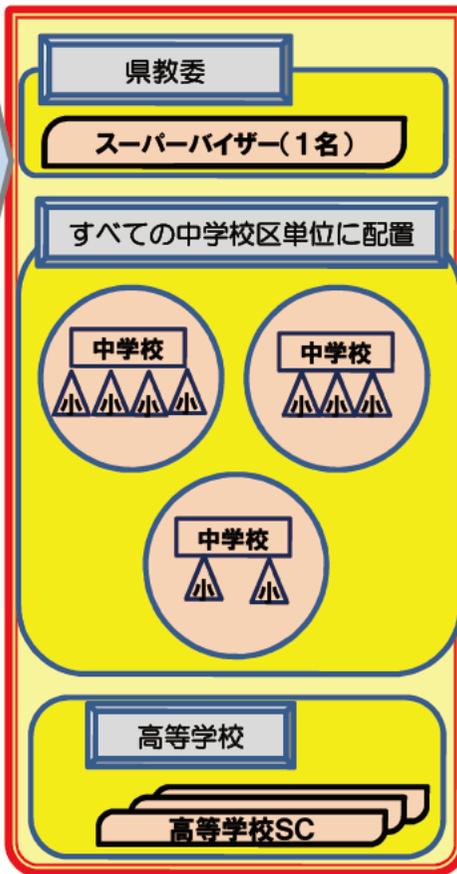
配置数及び配置率
 小学校 255校 (65.2%)
 中学校 163校 (100%)
 高校 36校 (62.1%)
 計 454校



配置方法の工夫変更

将来的な姿

- ・中学校区を単位として配置
すべての小・中学校をカバー
- ・高校は必要校に配置



学びの環境づくり支援事業
 ~15中学校区~ (平成24年度より)



スクールカウンセラー緊急配置事業

生徒指導課

スクールカウンセラー緊急配置事業

いじめが背景事情として認められる生徒の自殺事案の発生を深刻に受けとめ、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け子どもの心の在り方と深いかわりがある問題に対応できるカウンセラーを配置し、子どもの健全な心の育成を図ります。

学校配置

文部科学省の方向性
小学校
／65%に配置
中学校
／全校配置
県立学校
／全配置校の
10%以内に
配置

県内公立小学校
【255校／391校】
65.2%

学び
45校

SC配置事業
78校

132校

未配置
136校

65.2%

県内公立中学校
【163校／163校】
100%

学び
15校

SC配置事業
144校

4校

全校
配置

県立高等学校
【36校／58校】
62.1%

SC配置事業
31校

5校

スクールカウンセラー緊急配置
事業による配置
小中高合計【141校】

小学校SC

学びの環境づくり支援事業【45校】
スクールカウンセラー配置事業【78校】
と合わせ、65%配置とするために
【新たに132校に配置】

中学校SC

学びの環境づくり支援事業【15校】
スクールカウンセラー配置事業【144校】
と合わせ、100%配置とするために
【新たに4校に配置】

高等学校SC

スクールカウンセラー配置事業【31校】
と合わせ、全配置校の10%以内の配置を
満たす校数としての
【新たに5校に配置】

県庁配置（SV）

スーパーバイザー（1名）

○年間通じて、「新任SC」「準ずる者」のスーパーバイズを行い、SCの力量向上を図ります。
○緊急的な支援が必要な場合等に、SCとして対応を行います。